

堺市指定管理者評価表

(評価対象期間 : 令和6年4月1日 から 令和7年3月31日 まで)

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市都市緑化センター	
(2) 施設の設置目的	
緑化啓発を目的とした各種展示・講習会の開催及び市民緑化活動に対する支援・指導を行うため	
(3) 所管部局	
建設局 公園緑地部 公園緑地整備課	
(4) 指定管理者名	
アメニス・ECCOMグループ (株式会社日比谷アメニス大阪支店、NPO法人ECCOM)	
(5) 指定期間	
令和 5 年 4 月 1 日 から 令和 8 年 3 月 31 日 まで (3 年間)	
(6) 主な事業	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の管理に関する業務 ・ 施設等の維持管理に関する業務 ・ 都市緑化センターの運営に関する業務 ・ 施設の企画等に関する業務(自主事業) 	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
産業振興・基盤施設	有 (利用料金制)
(9) 開場時間	(10) 休館日
<ul style="list-style-type: none"> ・ 通常9時30分から17時00分まで ・ 夏季(7月、8月)9時30分から18時00分まで ・ 冬季(12月～2月)9時30分から16時30分まで 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎年12月28日～1月4日 ・ 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)
(11) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	

次頁以降の各管理運営状況の取組評価については、以下の評価基準により評価を行う。

評価 基準	a	要求水準を上回り、優れた管理運営がなされている
	b	要求水準を満たしており、適正に管理運営がなされている
	c	要求水準を下回る管理運営がなされている
	d	要求水準を大幅に下回る管理運営がなされている

2 管理運営状況

(1) 適正な管理運営の確保

ア 取組評価

	指定管理者	市
市民の平等利用や日常の事故防止、当該業務において回避しなければならないリスクに対して、回避するための具体的な方策を講じているか。	b	b
防犯、事件事故及び災害の発生時又は発生に備えた対応が適切であったか。	b	b
利用者の個人情報の取扱いや情報管理体制は適切であったか。	b	b
仕様書等で定めている人員配置(障害者、高齢者等)は、適切に為されているか。	b	b
人材育成の方針や研修計画等に基づいて、職員の資質や能力の向上を図るために必要な研修を適切に実施していたか。	b	b
施設の設備、器具備品は、適切に管理していたか。また保守点検や法定点検は、適切に実施していたか。	a	a
施設の設置目的や市が定める各種計画等に則って施設の管理運営が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、設置目的に沿った成果を得られたか。	a	a
利用者への情報提供、広報が適切に行われているか。また効果があったか。	a	a

イ 評価に関する所見・特記事項

指定管理者	市
<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度から新たな取組として様々な団体と連携しイベントを実施した。どのイベントも1,000人単位の集客があり、来館者増加を図れた。こうした事業はSNS等を通じて、フォロワー獲得と同時に情報発信を行い、安定した参加者を確保できた。また年5回の機関紙を発行し、イベントの案内だけでなく様々な緑化に関する情報も発信した。 予定していた施設点検は漏れなく行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 市の方向性(大仙公園の活用促進、来館者層の拡大、産学連携の推進)に沿って、さまざまな企画に積極的に取り組んだ。 SNSを効果的に活用し、フォロワー数の増加を図ることで、施設の認知度と魅力の向上に寄与している。

(2) 利用者サービスの向上

ア 利用状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指定管理者名	堺グリーンパートナーズ	アメニス・ECCOMグループ	アメニス・ECCOMグループ
利用者数(単位:人)	126,520	87,447	91,494
稼働率(単位:%)	多目的室85.6%	多目的室75.2%	多目的室77.4%
利用者満足度(単位:%)	87.5	79.6	81.3

イ 取組評価

	指定管理者	市
利用者が利用者しやすい料金の設定や利用区分になっているか。	a	a
利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。	b	b
利用者からの苦情、要望への対応が適切に行われ、また、利用者の意見を施設運営やサービスに反映させる取組がなされたか。	b	b
自主事業の実施など施設の設置目的の範囲内で、サービスの質を維持・向上するための具体的な取組がなされたか。	a	a

ウ 評価に関する所見・特記事項

指定管理者	市
<ul style="list-style-type: none"> 利用者満足度は令和6年度より向上し、また頂いたご意見を参考に事業の企画や実施に生かすことで、安定した参加をいただく事ができた。 自主事業においても堺市民による講習会を数多く実施した。また大仙公園の活用を促進するべく、ツリーイングや大仙公園あそびラボ等を年7回企画し、実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果を真摯に受け止め、回答者の声を情報収集し、イベント内容の改善に生かすことで、参加者数の増加を実現した。 大仙公園のさらなる活用を促進するためのイベントを開催し、レンタルグッズ等の貸出しも開始したことで、公園利用の幅を広げる取組を行った。

2 管理運営状況

(3) 収支

ア 収支状況

(単位:円)

■指定管理業務

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	【参考】 令和6年度(予算)
指定管理者名		堺グリーン パートナーズ	アメニス・ECCOM グループ	アメニス・ECCOM グループ	アメニス・ECCOM グループ
収入	指定管理料	56,000,000	53,000,000	52,500,000	52,500,000
	利用料金	169,000	356,346	578,259	400,000
	負担金				
	その他	569,400	534,502	372,420	
	合計	56,738,400	53,890,848	53,450,679	52,900,000
支出	人件費	35,398,364	23,350,421	25,421,914	22,170,000
	委託料	627,143	7,932,453	7,684,003	8,467,000
	総支出額に占める 委託料の割合	1.2%	18.3%	14.4%	19.1%
	修繕費	2,000,100	1,807,689	1,819,598	1,800,000
	光熱水費	6,408,273	5,514,589	6,246,010	6,013,000
	その他	8,558,907	4,694,339	12,241,655	5,821,000
	合計	52,992,787	43,299,491	53,413,180	44,271,000
収支差額		3,745,613	10,591,357	37,499	8,629,000
(市への納付金の額)		-	-	-	-

■自主事業

(有)

(単位:円)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	【参考】 令和6年度(予算)
収入		2,222,219	917,873	1,137,822	2,456,000
支出		1,959,954	1,649,730	1,871,943	1,312,000
収支差額		262,265	-731,857	-734,121	1,144,000
(市への納付金の額)		-	-	-	-

イ 取組評価

	指定管理者	市
施設の管理運営に関し、経費を縮減するための十分な取組が図られているか。	a	b
収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。	b	b
当初の収支計画どおりに適切、適正に予算執行がなされているか。	b	b
経理事務は適正に行われているか。	a	a

ウ 評価に関する所見・特記事項

指定管理者	市
<ul style="list-style-type: none"> ・予想外の気温の上昇や天候の要因で、水光熱費は増加したが、他とのバランスをとり、継続的な運営が実施できるように努めた。 ・費用対効果を鑑み、効率的なガーデンの管理を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度に比べ指定管理料は減少したが、貸館業務に施設予約システムを導入し、利用者サービスを向上させ、利用料金収入を増額させることで、限られた予算の中で安定した施設運営を継続した。 ・自主事業である売店運営においては、品揃えを充実させることで、収入を増加させた。

3 目標管理、総合評価

(1) 目標管理

ア 市が仕様書で定める目標の達成状況

■ 適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
SNS (InstagramやX等) フォロワー数	令和6年度 7,000人	7,549人

■ 利用者サービスの向上

指標	目標	実績
アンケートによる利用者満足度	80%以上	81.3%

■ 収支

指標	目標	実績
年間収益の金額(利用料金収入及び自主事業収入)	令和6年度 100万円以上	1,295,197円

イ 実績に関する所見・特記事項

指定管理者	市
<p>全ての項目において、目標を達成することができた。特にフォロワー獲得については各SNSの特性を鑑み、それぞれを生かした情報発信をすることで、アクティブなフォロワー獲得に繋がり、情報発信が行動に繋がる様にフォロワーを育成できている。それはイベント時において広報の効果として、安定した参加者の確保に繋がっている。</p>	<p>参加者のニーズに応え、満足度を高めるため、レベルに合わせた講習や講座等を開催、SNSや機関紙による積極的な情報発信等、目標達成に向け、様々な取組を実施することで、市の目標値を全て達成し、適正な管理運営が実施できていると評価できる。</p>

(2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	<p>・大学や専門学校との連携により若い層の意見を取り入れイベント等を実施することで、利用者の年齢層の変化を実現できている。</p> <p>・ボランティア団体や企業やその他近隣公共施設等、様々な団体と連携を行い事業を展開した。そうした連携により、小学校向けの学習プログラムの開発や、堺のSDGs政策推進への貢献、堺市茶の湯文化の醸成を図るなど、様々な成果をあげることができた。</p>	<p>・市が仕様書で定める目標値は全て達成している。</p> <p>・緑化にとどまらず、堺市のSDGs政策推進への貢献や、堺市茶の湯文化の醸成などの要素を取り入れたイベントを実施することで、さまざまな団体との関係構築を進めるとともに、関係人口の拡大や利用者層の多様化につなげている。</p>

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの